

ポイント2-①

幼稚園・保育所・認定こども園等の設置・管理者様へ

- ・**発育状況や活動状況等**に応じて**マスク着用の有無を適切に判断**しましょう。
- ・複数のクラスが合同になって行う活動は、**中止、延期や縮小するなど方法を検討**しましょう。
《感染事例》合同保育による感染拡大
- ・**飲食を伴う場面**では、机を向かい合わせにしないことや、会話を控えるなど、**飛沫防止対策を講じてください**。

ポイント2-②

小学校・放課後児童クラブの設置・管理者様へ

- ・**会話時のマスク着用を徹底**させてください。
また、**正しいマスクの着用を指導**しましょう。
《感染事例》放課後児童クラブへの移動中のマスク非着用クラブ内での密接した活動
- ・学校等における密集や近距離での活動等は避け、**時間や場所を分散**してください。
- ・小学校と放課後児童クラブは互いに連携し、利用可能である場合は、**より広い教室や体育館等の活用を進めてください**。
- ・**飲食を伴う場面**では、机を向かい合わせにしないことや、会話を控えるなど、**飛沫防止対策を講じてください**。

ポイント2-③

中学校・高等学校の生徒及び設置・管理者様へ

- ・活動中の**身体的距離を確保し、換気及び衛生管理や、部室使用時の人数管理などを徹底し感染リスクを下げ**ましょう。
《感染事例》十分な距離を取らず、マスクを外した状態で練習した屋内部活動
- ・**換気の悪い場所での食事はより対策を徹底し、話をする際はマスクを着用**しましょう。
- ・複数人数での登下校中も、マスクの着用を徹底しましょう。
《感染事例》学校外での複数の友人との外食
- ・学校内での活動だけでなく、**大会や練習試合等でも感染対策を徹底**しましょう。

県民の皆様へ 新型コロナワクチン接種に関するお願い

県内の新型コロナ感染者全体に占める子供の割合が非常に高い状態になっています。ワクチンを接種することで、発症予防や感染予防など一定の効果が期待されています。子どもを感染症から守り、また、感染を拡大させないためにも、ワクチンの接種についてお子様と一緒にご検討ください。

12歳以上17歳以下の方も3回目接種ができます（ファイザー社ワクチン）

3回目接種により、オミクロン株感染に対する発症予防効果や入院予防効果が回復するとされています。

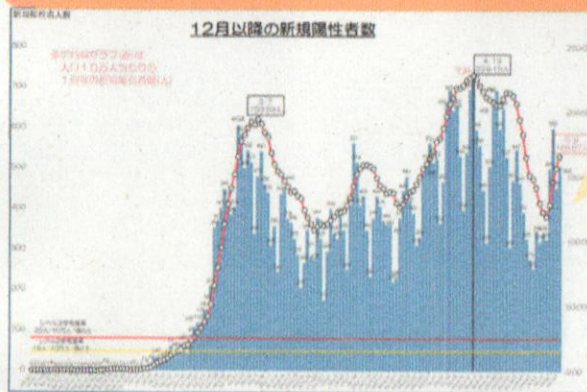
相談窓口

- ＜厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター＞
・電話番号：0120-761-770（フリーダイヤル）
・受付時間：9時00分～21時00分（土日・祝日も実施）
- ＜福島県新型コロナワクチン副反応コールセンター＞
・電話番号：0120-336-567（フリーダイヤル）
・受付時間：9時00分～20時00分（土日・祝日も実施）
- ＜福島県新型コロナワクチン子ども相談窓口＞
・電話番号：0120-191-567（フリーダイヤル）
・受付時間：9時00分～20時00分（土日・祝日も実施）

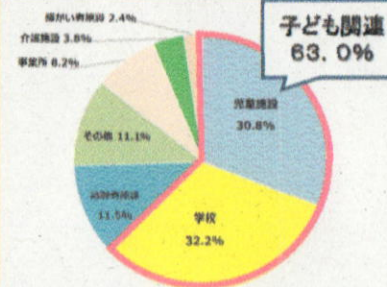
5歳以上11歳以下のお子さんは、1・2回目の接種を実施しています。ご家庭で話し合うなど、接種についてご検討ください。



大型連休後に感染が再拡大しています



陽性者数別 クラスター発生割合
4月29日～5月8日



- ・曜日別で過去最多の新規陽性者を記録するなど感染再拡大の傾向にある。
- ・クラスターの発生では、特に子ども関連施設での陽性者数の割合が最も大きく、急拡大の起点になる恐れがある。

引き続き、感染拡大防止対策が必要です 子どもの感染拡大防止重点対策を進めていきます

感染拡大防止緊急総点検

4/18-5/15

感染拡大防止
重点対策 3/7-5/15

5/16-5/31

子どもの感染拡大防止
重点対策

基本対策

3/7

5/16

子どもの感染拡大防止重点対策

令和4年5月16日(月)～5月31日(火)

1 保護者の皆さまへ(共通)

ご家庭での感染対策、症状がある時の行動等について

2 施設管理者等の皆さまへ(共通)

基本的な感染対策、各場面での対策徹底等について



- ① 幼稚園・保育所・認定こども園等の設置・管理者様へ
- ② 小学校・放課後児童クラブの設置・管理者様へ
- ③ 中学校・高等学校の生徒及び設置・管理者様へ

ポイント1

保護者の皆さまへ(共通)

- ・ご家庭では、検温を始め、体調を確認し、喉の痛みなど少しでも症状があるときは登校、登所は控えてください。
- ・同居するご家族に感染者が確認された場合は、所属する学校や関係する施設に速やかに連絡し、登校・登所を控えるなどの検討を。



ポイント2

施設管理者等の皆さまへ(共通)

- ・常に、換気をしっかり行いましょう。
- ・手洗い、手指や多くの人々が触れる部分(机、ドアノブ等)の消毒など基本的な感染防止対策を徹底してください。
- ・子どもや職員の体調管理を徹底し、体調不良時は帰宅させましょう。

